

多摩市地域自立支援協議会 令和4年度第2回 会議録

日 時	令和4年10月19日(水) 18:30~20:30	場 所	多摩市役所 301・302会議室
出 席 者 ※ 敬 称 略	委 員	吉井、藤吉、野路、荒井、市川、角川、北山、佐藤、中原、高松、登坂、松澤	
	障害福祉課 (事務局)	平松、上野、今野、平林、片山、山内	
欠 席 者 ※ 敬 称 略	委 員	川辺、柴田、山田	
記 録 者	事務局		
項 目	開会 1 委員の紹介 2 計画の策定について 3 主な課題に関する取組状況について 4 その他 閉会		
	詳細		
1 委員の紹介	<p>～開会～ 特に意見なし。</p>		
2 計画の策定 について	<p>2 計画の策定について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議の回数について、8回は自立支援協議会も含めるとタイトではないか。 ・前回、8回実施したが、ぎりぎりまで策定を行っていたため、12回、少なくとも10回は開催できるとよい。 ・生活実態調査・アンケートの回収率が悪かったと思う。異なる方法（オンラインなど使用）で簡単に回答できるシステムなら、回収率が上がると思う。 <p>【事務局】</p> <p>回収率について、実態調査は43.8%、事業者アンケートは51.1%と低い水準だった。実施方法は、他の自治体を参考にして、回収率を上げていきたい。</p> <p>生活実態調査は特に質問の分量が多く、いろんな意見を取り入れられる反面、障がいのある方も答えられるような工夫も必要だと考える。</p> <p>事業者アンケートはメールで実施した。回答率を上げられるように、みなさまにご協力をいただきながら進めたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当事者の意見を反映させるため、委員の数を3名増やすことは良いと思う。できるだけさまざまな障がいを持っている方を参加させてほしい。19名ぐらいいてもいいのでは。 		

- 委員の人数については当事者参加には賛成。少しずついろんな障がいの方々を増やせたら。
- 委員の数を3名追加することは、実現可能なのか。

【事務局】

3名追加は可能と考えている。他自治体でも当事者参画が増えている。

回数については、5月から毎月1実施すると8回になる考え。できるだけ資料を事前に送付して内容を確認いただいたり、一回ごとの議論の質を上げていけば増やす必要はないと思うが、検討させていただく。

- 当事者を増やして19人で、回数を8回に増やすのはいいが、最低でも10回は必要ではないか。
- 身体なら視覚や聴覚など、異なる障害を持っている方に出席してほしい。
- 計画の内容は、各障害福祉サービスの内容の洗い出しをするものなのか。

【事務局】

提供体制については、国の基本指針に基づき目標を立てる（見込み量など）ものである。障害特性ごとの分析を行った上で、市としての目標を立てていく。

- 当事者委員参加については、場づくりとしても意味がある。委員の決め方・任命の仕方は議論していきたい。意思表示が難しい方の参加も課題になる。意思表示を支援できる方の参加も、セットでできると良い。

【事務局】

自立支援要綱を基準に、各分野で活動している方々を委員に選んでいきたい。また、身体、精神、知的の部会が立ち上がっているため、その方々が候補になると思う。

- 意見のまとめると、会議の回数について、過去の結果過去の経験からも含めて、8回では少ないのではないかと。ただし、活動開始が5月頃であるため、10回程度で進めるのはどうかという意見だった。
- アンケートの回収率については、方法だけではなく、答えやすい内容も含めて分量が多いと、当然回収率は低くなるので、それらの工夫も必要ではないか。
- 委員のメンバー構成について、18名のうち、当事者を5名、家族を含めた関係者を13名にするのはどうか。

- 当事者の方は、急な体調不良がある。しかし、現状の協議会では、委員の代替えができない。柔軟に対応できるようにしてほしい。
- ピアサポーターとして活躍されている方々も当事者として入ると、より活発な議論が進んでいくと思う。アンケートの回答は、QRコードなどで紙・ネット双方の対応を

進めると良い。

- ・私達委員も含めて、協議会を欠席した際の代役が可能なのか。

【事務局】

規定について懸念されるのが、謝礼が出せない可能性がある。規定の内容や、他の協議会とのバランスを取りつつ検討していきたい。

- ・事業所によっては、代理出席は厳しい。それよりも、支援者と同行や代弁できる仕組みが好ましい。
- ・会議の回数については、質を向上させれば、8回でも欠席が少なく参加しやすいのでは。
- ・代理参加については、全委員について代理を立てればいいという話だろうが、現実的には厳しいと思う。欠席者に報告を行えば、次回も参加しやすいのでは。
- ・当事者の委員は、細かく設定すると揉めにくいと思う。
- ・委員は任命を受けているので、代理は受けたくない方がいい、と判断してきた経緯があるが、今後も含めて再調整したい。
- ・計画のスケジュールについて、5、6月では実態調査・アンケートの結果（話す材料）がまだなく、まとまった事業所の状況や当事者の意見があがるのは、7～9月頃なのでは。8回というのは妥当であり、5・6月の協議内容を詰める方がいいのではないか。
- ・さまざまな情報を知るには回数を増やす方がいいが、欠席も出てくる。ただ、資料を事前に見て、市に意見を伝えておく、なども可能かと。新型コロナウイルスの再流行も考えられるので、引き続きオンラインとのハイブリット開催も行えるとよい。
- ・上がった意見として、委員について、当事者の方を幅広く入れること。それぞれの専門性を活かすまたは就労に関わる部分について大きな変革の時期なので詳しい方が必要ではないかということ。
- ・会議の開催について、計画的に進め、回数が多ければいいという話ではない。事前に何かあれば、欠席しても意見をもらう工夫をする。また、過去の経験から、会議は8～10回は必要であろうということが、多くの意見に思える。
- ・生活実態調査、アンケートについて、調査の工夫をぜひお願いしたい。回収率を上げて適切なデータがあれば、当然議論も進むのではないか。

◎タブレット通訳システムの使用状況の共有について

特に意見なし

◎虐待について

- ・今年度、福祉サービスの事業所については、虐待防止委員会の設置が義務付けられており、当病院も設置した。他事業所の虐待防止や研修への取り組みについて、情報共有の場があるとありがたい。

<p>3 主な課題 に関する取組 み状況につい て</p>	<p>【事務局】 各事業所連絡会等で内容の共有、検討していきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認定基準は前回もしたが、その件数ではなく、早期発見のために疑わしくは通報を、ということで通報促進が求められるが、通報をするその工程がどれだけあって、認定される件数があるその割合や動きが指標となるのではないか。 ・基準は、全事業所を統一することは難しいと思が、どう減る方向に動いているのか、早期発見が促進されているかがポイントだと思う。 ・相談＝通報と捉えていいか。通報件数が分かれば教えてほしい。 <p>【事務局】 分析していくということは確かに必要。 通報が何件というのは、現在、細かいものまで数を把握していないが確認の上、あり方を検討していくことが必要。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童相談所から、虐待通告が過去にあったが、後日、虐待と認定されなかった。「認定されなくてよかったね」で終わるのは、危険の防止という観点でも危ない。家族が困っている状況があるからこそ、通報されたのだと思う。その後のご家族のフォローや体制、仕組みが大切ではないか。 <p>3-2 精神障がい者にも対応した地域包括ケアシステムについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ピアサポーターの活動（交通費や病院訪問の謝礼等）に予算が付くことを期待したい。 ・災害対策では、事業継続ができるように、BCP策定が令和6年度に義務付けられている。以前に東京都の研修に参加したが、ある自治体では、災害時の個別のケアプランを立てること、補助を出していること、計画相談のサービス利用計画に災害のプランも盛り込むなどの取り組みが始まっている。多摩市も災害プランの策定、研修などに補助金をだしていただけると大変ありがたい。 <p>3-3 就労支援／人材育成・確保について</p> <p>○就労支援について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今の国会で、障害者雇用促進法の改正が提出されており、週10～20時間の短時間雇用が雇用率に算定される予定である。また、2024年から就労継続支援B型事業等の利用者に対して、一般就労を選択するためのアセスメントが行う「就労選択支援事業」を厚生労働省が準備している。就労B型の利用者の中で、就職が可能な方もいるため、少しでも機会を与えられるように、アセスメントを実施する。実施する指定先は私どものような障害者就業・生活支援センターや、自治体の就労支援センター、一部の就労移行支援事業所が指定されることが検討されている。今後、全国の一部のセンター試験的に併用できる形で実施する予定である。就労B型利用者や短時間しか働けない人は、今までは就職は困難だったが、新たな超短時間雇用や選択事業の創設により短時間雇用で一般就労しやすい動きやすくなると思う。また、短時間雇用がスタート
---	--

すると、仕事の切り出しに苦勞している中小企業は雇用しやすくなる。

- このような内容を話し合える、就労支援部会が多摩市にはまだない。私どものような広域の支援センター以外に多摩市の就労支援センターが中心になり、今後の短時間雇用や中小企業での雇用を話す場所や時間を設けること、委員を選ぶといいのではないか。
- 就労支援の議論の場を設けることに、賛成する。
- 精神の方で、従来の制度では働けなかった方が、新たな制度の導入で短い時間からでもチャレンジしようとする方が出てくるのでは。
- 現状、多摩市内で就労移行が一つ閉所になり、一般就労への手助けをする社会資源というのが他市に比べて少ない。
- BCP策定について、東京都の勉強会もあるが、スケジュールはタイトだったりする。防災安全課が中心となり、多摩市内の事業所を集めて、身近な場所で研修を実施する体制が取れないのか。

【事務局】

令和3年度の報酬改定で、事業所に義務化された。多摩市も計画相談等の事業所指定担当なので、BCP策定は重要と認識している。厚生労働省でもBCPに関するホームページを出している。国としての雛形を示したり、先行して取り組みを行っている。それらを踏まえて、国と東京都だけでは足りない場合に、多摩市で対応を検討させてもらいたい。

○人材育成・確保について

- 10月16日に行われた福祉フェスタで、事業所PR動画を活用したか。また、周りの反響はあるのか。
- 多くの方に観てもらうため、YouTubeだけではなく市役所ロビーのテレビで流せないか。
- 障害福祉サービス事業所等従事者資格取得費補助金について、その他養成研修等受講料に重度訪問介護は対象になるのか。受講するだけで2、3万、痰の吸引の講習だけでも追加で何万とかかって負担が大きい。

【事務局】

- 福祉フェスタについて、機器トラブルにより放映できなかった。11月中旬にお仕事相談会があるため、そこでの反応を確認したいと思う。
- 補助金について、事業内容を検討中であり、予算が成立するかは改めてご報告する前提で聞いていただきたい。重度訪問介護の養成研修は、資格従事者の要件に該当するというので、多摩市も認識している。このほかに、例えば移動支援やガイドヘルパーの従事者研修なども補助金の対象となるように、整理をしている。
- 事務局からの質問で、重度訪問介護の養成研修を補助金の対象とすることで、具体的にどのような効果があるのか、現場の意見を伺いたい。

- 研修の受講にあたって、費用負担のハードルが高い。制度が通れば、主婦や学生の活用が見込まれ、人手不足の解消、人材確保につながると考える。
- 事業所PR動画については、事業所の従業員が出演したり、作成に携わったり、目的としては人材確保だと思うが、効果としては、事業者で現在働いている人たちの啓発や定着にも繋がったのではないかと。動画の評価・反応がどうなのか、制作に携わった人たちに返答したい。その運用状況をまとめて発信するのは誰になるのか。

【事務局】

ホームページを作りこんで、皆さんに感じていただけるようにしたい。

- 事業所のPRはとても良いが、PR上はどれも良いもの。本当に仕事をしたいと思わせる工夫が大切だと思う。「利用者の笑顔が大好きです。その笑顔を引き出すために、お手伝いします。」など、それを見た人が「どのような仕事場なのか。行ってみようかな。」と、感じさせることが重要と考える。
- 人材定着について、人材派遣会社に人の受入れ協力、人が人を動かすような技術を受け取る研修をやると良いのでは。そこに費用助成すると良い。事業所に足りない部分を民間にフォローしてもらおう。
- スキルアップについて、国家資格については、受験資格取得への補助を行うなどにより、良い人材を取り入れていく。多摩市権利擁護センターは質的なレベルを求めているため、近隣市と異なり国家資格を持っている人を採用しているが、各事業者にも国家資格を有している方がいると思う。増やしていくことで、人材の質を上げるとともに、利用者の方の理解を深めることにも繋がるのではないかと。

3-4 新型コロナウイルス感染症や災害への対応について

- 災害時個別支援計画も出ているが、そろそろ防災訓練を実施できないか。新型コロナウイルスの影響で集まれなかったが、災害はいつ来るかわからない。いざという時のために練習しないと動けない。1年前に我が家のマンションが火事になった。自分の身に起きると思わず、ベルが鳴っても自分の家か分からなかった。実際にやることの必要性を感じ、ブラッシュアップが必要ではないか。医療的ケア児の協議会でも、提案しているが話が進まない。各分野単位でやっていけると安心だと思う。
- 直近で計画はあるか。

【事務局】

総合防災訓練が先日実施された。障害福祉課だけで行うことは正直いって難しいが、どんな形でやるのか、自治会や地域の団体等、市の訓練や個別で実施する方法があるかと思う。どんなところから始めたら良いのか、検討していきたい。

- 障害福祉サービス事業所等新型コロナウイルス検査経費補助金について、事業所及び1人当たりの上限はいくらなのか。

4その他	<p>【事務局】</p> <p>3回補助の期間があると認識してほしい。まず、4月1日から6月末を第1期、7月1日から10月末を第2期。11月1日から3月末が第3期となっている。各期間で上限を1人当たり3万円までとし、事業所としての補助金の上限もあるため個別にご相談してほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> •多摩市の公式 YouTube チャンネル動画を見ると、けん玉・女子大生が出ているものが伸びていると感じた。重点課題として、事業所PR動画を取り上げているならば、上げるタイミングやその後、再生回数を報告するのはどうか。 •効果判定・持続的に見ていく必要がある。結果を報告いただきたい。 <ul style="list-style-type: none"> •災害やBCP策定、新型コロナウイルスなどが課題に上がっているが、他の自治体の取り組みを含め、学んでいきたいと思う。 •八王子市では、11月23日に「コロナからの復活祭」を実施する。きらら亭が主催され、草むらの会も出店する。ステージで出し物、飲食などのブースがある。多摩市でもこのようなイベント・お祭りはないのか。 <p>【事務局】</p> <p>10月22、23日に、多摩センターでハロウィンイベントがある。また、同日にボッチャの体験会を桜ヶ丘ショッピングセンター2階のセンターコートで行われる。</p> <ul style="list-style-type: none"> •宮城県気仙沼市へ行き、さんまを1300匹買い付けた。22日に永山商店街で、さんまを150円で販売するが、焼く手伝いが欲しい。時間割でやろうと思っているが、当日販売となる。 •10月29日にZOOMで講演会をやりたいと思っている。追って市に連絡するので、ホームページに掲載してほしい。 •健幸まちづくりシンポジウム・多摩市で児童虐待防止啓発講習会を実施される。タイトルとしては、「ヤングケアラーに気づき繋ぐために」ということで、11月22日(火)13時～15時に、関戸公民館ヴィータホールで行われる。定員は220名まで。保育もあるので、お子さんをお持ちの方も参加しやすい。詳細はホームページを見てほしい。 •イベントが以前よりも増えた。各自ホームページなどを確認の上、参加いただきたい。また、参加することで、現場での得られる課題などがあるので、持ち寄っていただきたいと思う。 <p>～閉会～</p>
------	--